

第3章

健幸（けんこう）長寿のまち

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | | | | |
|-------|----------|-----------------|---------------------------|--------|-------|-----|----------|-------------|------|---|------------|------------------------|-----------------|-------------|------------------------|--|--|--------|--------|--|---|--|---------------------------------|------------|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | | | | | |
| 311 | 市民相談課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業のPRや広報も難しい状況であったが、国の行動自粛の緩和策や、国等による宿泊支援事業などの動きに合わせ、市民の保養施設利用者が前年度より増え、事業の目的の通り市民の健康増進と心身のリフレッシュに資することができている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | R221 | R222 | R223 | R224 | R225 | R226 | R227 | R228 | R229 | R2210 | |
| | | 根拠法令 | R3予算現額 | | | | | | | | | | | R3決算額(見込み) | 所沢バスポート券利用者数 | 所沢バスポート券を利用した延べ人数 | R2目標 | R2実績 | R3目標 | R3実績 | R3目標が未達成の理由・分析 | 従来、所沢バスポート券は、施設一覧などとセットで配付しており、1部につき2枚ついていて、3名以上の利用者の場合は複数部持って行ってもらっていたが、利用しやすさや経費削減のため、追加用のバスポート券を別途用意し、配付を行った。 | | |
| | | 市民保養施設利用事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R221 | R222 | 201人 | 415人 | 143人 | 150人 | 201人 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者数が前年度同様低い数値となっているが、目標は達成することができた。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | どのように貢献したか | |
| | | 期間 | H4~ | | | | | | | | | | | R321 | R322 | 210人 | | | | | | インターネットの普及に伴い、市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっている。また、協定解除の申入れがあった協定先もあるため、時事情報の収集を行い、今後の事業のあり方について検討していく。 | 年齢や性別を問わず、心身のリフレッシュと健康の増進に寄与した。 | |
| 311 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 本計画は、「計画内推進会議」及び「計画推進委員会」において意見を伺いながら適正な進行管理を行っている。当該年度の実績は翌年度に評価を行い、確定するものであるため、令和3年度実績は現在審議中である。このため、実績の確定した令和2年度実績の達成率により、総合評価を「B」とした。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①計画推進委員会開催日数 | 計画の各章項目に設定した目標指標達成度について、以下の要件を満たす実績の割合 ・定量的な指標：S、A(=達成率80%以上) ・定性的な指標：◎、○(=改善、継続等) | R2目標 | R2実績 | R3目標 | R3実績 | R3目標が未達成の理由・分析 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | どのように貢献したか |
| | | 根拠法令 | R221 | | | | | | | | | | | R222 | 実績 | 100.0% | 65.8% | 100.0% | 審議中 | 当該年度の実績は翌年度に評価を行い確定するものであり、令和3年度実績は現在審議中である。実績の確定した令和2年度については、全評価項目(38)のうち、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業等を中止したことにより、「未評価」(ー)となった項目が6箇所あったため、未達成となった。 | 在宅医療に関する講演会の開催等、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した取組について、感染防止対策の徹底や規模を縮小しての開催等、工夫を行い、「未評価」の実績を減らしていく。 | | | |
| | | 所沢市保健医療計画推進事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R221 | R222 | ①3回(うち1回は書面開催) ②3日(うち1回は書面会議) ③令和3年度は審議中(R2年度:65.8%) | 100.0% | | 100.0% | | 令和3年度実績は現在審議中である。このため、実績の確定した令和2年度実績の達成率により、総合評価を「B」とした。 | 当市の保健・医療に関する施策を一体的に推進する保健医療計画を策定・推進することにより、市民の健康づくりに貢献した。 | | |
| | | 期間 | H28~ | | | | | | | | | | | R321 | R322 | 8,539千円 | | | | | | | | |
| 311 | 健康づくり支援課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 生活習慣病予防に有効な1日の平均歩数が8,000歩であるという中之条研究の成果を参考に指標としている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | | |
| | | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①参加者数 | 健康マイレージ事業の参加者の1日平均歩数 | R2目標 | R2実績 | R3目標 | R3実績 | R3目標が未達成の理由・分析 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | どのように貢献したか |
| | | 根拠法令 | R221 | | | | | | | | | | | R222 | 実績 | 8,000歩 | 7,242歩 | 8,000歩 | 7,029歩 | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛が呼びかけられたことから、参加者が外出を控えたため、歩数が伸びなかったと考える。 | 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場において、トコト健康マイレージや健康二次被害防止のチラシ等を配架し、事業の周知と自分のペースでできる効果的な活動の啓発を図った。 | | | |
| | | トコト健康マイレージ事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R221 | R222 | ①10,752名 ②7,029歩 | 8,000歩 | | 8,000歩 | | 本事業を通じて多くの市民の健康維持増進を達成できるよう、さらなる参加者の獲得に向け周知に努めるとともに、参加者が長期間に渡って活動を維持できるよう取り組んでいく。また、外出自粛の長期化により市民の運動不足に伴う体力・身体機能の低下が懸念されることから、市ホームページに掲載している簡単ストレッチや筋力トレーニングの動画の周知を行うなど、自宅でできる健康づくりの提供に努めたい。 | 日常的にウォーキングを行ってもらうことで、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりへの取組を支援した。 | | |
| | | 期間 | R2.7~ | | | | | | | | | | | R321 | R322 | 12,369千円 | | | | | | | | |
| 312 | 健康づくり支援課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | S | 4か月児健康診査から「健やか親子21(第2次)」計画の乳幼児健康診査におけるアンケート調査項目を設定。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①電話、窓口、面接、訪問等による相談 | 妊娠・出産について満足している親の割合 | R2目標 | R2実績 | R3目標 | R3実績 | R3目標が未達成の理由・分析 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | どのように貢献したか |
| | | 根拠法令 | R221 | | | | | | | | | | | R222 | 実績 | 83.0% | 80.0% | 83.0% | 84.1% | 目標達成済 | 子育て世代包括支援センター「かるがも」等での妊娠届出の集約化を円滑に行うため、市内産科医療機関及び公共施設に「妊娠届出は保健センターへ」のポスター、チラシを掲示・配布し事前の周知をした。 | | | |
| | | 子ども・子育て支援法 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R221 | R222 | ①3,893件 ②804件 ③24件 ④174日(延べ46人) | 83.0% | | 83.5% | | 産後ケア事業の拡充を図り、利用料金を見直した。 | 妊娠中及び出産後の生活等について助言を行い不安を軽減できるように努めた。 | | |
| | | 妊婦・出産つづけてサポート事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R321 | R322 | 33,037千円 | | | | | 新型コロナウイルスの影響により、孤立感を抱えながら育児をしている保護者もいる。専門職が妊娠届出時に面接を行うことで、早期からの相談支援の充実を図る。令和4年度より所沢市子ども家庭総合支援拠点連携会議を開始。育児支援に携わる関係機関とさらなる連携強化を図る。令和4年度から産後ケア事業(宿泊型)に加え(デイサービス型)を開始し、産後の心身や育児に不安を抱える母子への支援の拡充を図る。 | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | |
|-------|-------|--------------------------|---------------------------|--------|-------|-----|----------|-------------|------|---|------------|------------------------|---|--------------|------------------------|-------------|-------------------------|---|---|--|---|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | | |
| 321 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 感染対策が必要な公共施設すべてに機器を配布し、強化が図れたことから総合評価を「A」とした。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 公共施設を利用する市民の感染防止対策に貢献した。 | 保健医療課長 小澤 一良 | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①非接触型温度計・消毒機の配布した施設数・台数 | 必要と考えられる施設への配布率 | 公共施設を利用する市民の感染を防止することや、市民が利用するホール等の換気がしにくい部屋の換気の目安を分かりやすくするため、必要と考えられる施設に対して機器を配布することを目標とした。 | 各施設に対し、事前に調査を行ったうえで機器を購入数量を決定し、必要と考えられる施設すべてに配布をした。 | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②二酸化炭素濃度測定器を配布した施設数・台数 | 必要と考えられる施設への配布率 | 公共施設を利用する市民の感染を防止することや、市民が利用するホール等の換気がしにくい部屋の換気の目安を分かりやすくするため、必要と考えられる施設に対して機器を配布することを目標とした。 | 各施設に対し、事前に調査を行ったうえで機器を購入数量を決定し、必要と考えられる施設すべてに配布をした。 | |
| | | 公共施設感染拡大防止対策事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み |
| | | 期間 | R2~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ①161施設・190台 | R3目標 | R3実績 | 目標達成 | 感染拡大時において入手が困難となっていた、非接触型体温計、消毒機、二酸化炭素測定器を購入し、各施設に配置したことにより、対策が強化され、目標は達成したことから事業を終了した。 |
| | | 期間 | R2~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ②47施設・47台 | R4目標 | R4実績 | 目標達成 | どのよう貢献したか |
| 321 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 成果指標の目標値をほぼ達成することができおり、事業の目的である感染症の発生・まん延防止は図られていると考える。今後は、高い接種率を維持し事業の目的を達することができるよう、引き続き確実な周知と適切な勧奨に努めていく。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | HPVワクチンの積極的勧奨が再開され、3月に次年度高校1年生になる女子に予診票を送付した。 | 健康管理課長 松井 優子 | | | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①小児予防接種接種者数 | 小児予防接種接種率(延べ接種者数56,098人÷対象者数61,412人) ※但し、子宮頸がんについては、積極的勧奨を中止していたことから除く。 | 感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・勧奨を確実にすることにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②成人予防接種接種者数 | 小児予防接種接種率(延べ接種者数56,098人÷対象者数61,412人) ※但し、子宮頸がんについては、積極的勧奨を中止していたことから除く。 | 感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・勧奨を確実にすることにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 各種予防接種事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | どのよう貢献したか |
| | | 期間 | S23~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ①56,098 | R3目標 | R3実績 | 日本脳炎のワクチン供給不足により、優先接種対象者以外は接種を控えるよう依頼したことから、接種者数が減少したため。 | 新型コロナウイルスワクチン接種に関する国や県の動向も踏まえながら、感染症の発生・まん延を防止すべく、継続して事業を実施していく。 |
| | | 期間 | S23~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ②49,507 | R4目標 | R4実績 | 日本脳炎のワクチン供給不足により、優先接種対象者以外は接種を控えるよう依頼したことから、接種者数が減少したため。 | 予防接種の高い接種率を維持することで、市民の免疫レベルを高水準に保っている。 |
| 321 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大という緊急事態のため、5歳以上の全ての市民を対象とした大規模なワクチン接種事業は、全てが新しい業務であり、人員や時間に制限がある中、度重なる制度変更にも対応し実施ができた。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | 特になし。 | 健康管理課長 松井 優子 | | | | | | | |
| | | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①新型コロナウイルスワクチン1回目接種者数 | 全国的な世論調査等によると70%程度の方が接種を希望しているため。 ※R3実績は初回接種(1回目、2回目)完了者の接種率。 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大という緊急事態のため、5歳以上の全ての市民を対象とした大規模なワクチン接種事業は、全てが新しい業務であり、人員や時間に制限がある中、度重なる制度変更にも対応し実施ができた。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②新型コロナウイルスワクチン2回目接種者数 | 全国的な世論調査等によると70%程度の方が接種を希望しているため。 ※R3実績は初回接種(1回目、2回目)完了者の接種率。 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大という緊急事態のため、5歳以上の全ての市民を対象とした大規模なワクチン接種事業は、全てが新しい業務であり、人員や時間に制限がある中、度重なる制度変更にも対応し実施ができた。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 新型コロナウイルスワクチン接種事業(接種対策等) | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | どのよう貢献したか |
| | | 期間 | R2~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ①274,682人 | R3目標 | R3実績 | 目標達成 | 希望される方が問題なく接種できるように広報、ホームページで周知を行い、引き続き接種体制を整えていく。 |
| | | 期間 | R2~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ②271,790人 | R4目標 | R4実績 | 目標達成 | 感染症への罹患や重症化するリスクを低下させた。 |
| 323 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 大腸がん検診の受診者数は、平成29年度以降微増傾向で、令和元年度に16,788人となったが、コロナ禍により令和2年度は16,170人まで減少した。それに対し令和3年度は17,657人に増加し、受診率は目標に届かなかったものの、コロナ以前の実績を上回ったため。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | コロナへの不安感から受診控えをすることのないよう、市ホームページやところざわほっとメールで呼びかけた。健康増進に関する連携協定を締結している明治安田生命保険相互会社にがん検診のチラシ配布を依頼し、周知を図った。 | 健康管理課長 松井 優子 | | | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①延べ申込者数(前立腺がん検診を除く) | 大腸がん検診受診率(受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:17,657人、対象者:217,557人) | 早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②延べ受診者数(前立腺がん検診を除く) | 大腸がん検診受診率(受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:17,657人、対象者:217,557人) | 早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | 健康増進法 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ③前立腺がん検診受診者数 | 大腸がん検診受診率(受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:17,657人、対象者:217,557人) | 早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。 | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | | がん検診事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | どのよう貢献したか |
| | | 期間 | S58~ | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ①46,599人 | R3目標 | R3実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に16,170人(受診率7.5%)となった受診者数は、令和3年度に受診控えしないよう呼びかけ、令和元年度の16,788人(7.8%)を超える、17,657人(8.1%)まで増加したが、目標値にまでは至らなかった。 | 年度当初に申し込んだものの結果的に受診しないままになっている市民が一定数いるため、受診勧奨の対象や通知の時期、受けたいような勧奨の内容等も工夫し、受診率の向上に努める。 |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | | |
|----------|-------|---------------|-----------------------------|--------|-------|-----|----------|-------------|------|------|------------------------|-----------------|-------|---|------------------------|-----------------|---|-------------|--|---------------------------|---------|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | | |
| 323 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | A | 予算計上した1000人分に申込数が迫ったため、申込受付を終了したが、受診実績は半年間で464人とどまった。他方で、埼玉県が実施する肝炎ウイルス検査の令和3年度通年の市内受診者数は139人であり、市の事業として実施することで受診機会・受診者数を増やすことはできた。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①申込者数 | 肝炎ウイルス検査受診者数 | |
| | | 根拠法令 | 健康増進法 | | | | | | | | | | | | | | 10,029千円 | 6,457千円 | ②実施医療機関数 | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ③要精検者中の精検受診者数(フォローアップ対象) | | |
| | | 期間 | R3~ | | | | | | | | | | | | | | 0.00人 | 0人 | 実績 | | |
| | | 0千円 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | ①955人 | 0人 | 令和3年10月に開始した肝炎ウイルス検査事業は、申込者数が955人に対し受診者数は464人であった。乖離の原因として、問診で過去に受診履歴があると分かり、受診に至らなかった申込者が相当数いたことが考えられる。「未受診者のみが対象」とあると案内・注意喚起の仕方が課題である。 | | |
| | | 0.28人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | ②40医療機関 | 0人 | 500人 | | 464人 |
| 2,234千円 | 0人 | ③4人中4人 | 0人 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,234千円 | 0人 | | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1,100人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 324 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | S | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加) | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①精神保健福祉士による相談件数 | 精神保健福祉士による延べ相談件数 | |
| | | 根拠法令 | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 | | | | | | | | | | | | | | 6,142千円 | 5,223千円 | ②こころの健康講座及びこころの美術展の参加人数 | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ③精神障害者等一時宿泊事業の延利用者数及び利用日数 | | |
| | | 期間 | H14~ | | | | | | | | | | | | | | 5.23人 | 0人 | 実績 | | |
| | | 42,719千円 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | ①延べ相談件数10,437件 電話8,028件、メール156件、来所相談1,067件、訪問支援1,186件 | 0人 | 7,500件 | | 8,992件 |
| | | 6.45人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | ②延人数3,343人 こころの健康講座59人参加 こころの美術展3,284人参加 ③延利用者数18人 利用日数69日 | 0人 | 8,200件 | | 10,437件 |
| 51,471千円 | 0人 | | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9,000件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 324 | 健康管理課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | S | 思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①自殺遺族支援「わかちあいの会」の運営 | 自殺対策計画の進捗度(思春期こころの健康相談事業) | |
| | | 根拠法令 | 自殺対策基本法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 | | | | | | | | | | | | | | 1,074千円 | 1,063千円 | ②思春期こころの健康相談事業 | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | | |
| | | 期間 | H21~ | | | | | | | | | | | | | | 0.66人 | 0人 | 30人 | | 30人 |
| | | 5,391千円 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | ①6回実施 77人参加 | 0人 | 31人 | | 37人 |
| | | 0.62人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | ②12回実施 37人 | 0人 | 31人 | | |
| 4,948千円 | 0人 | | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | |
|-------|-------|---------------|--|--|---|---|--|---|------|---|---|------------------------|---|-------------|------------------------|--|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | |
| 331 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 R2決算額 2,820千円 2,511千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 2,998千円 2,911千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.27人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.38人 0人 3,032千円 | R2予算現額 R2決算額 16,035千円 16,035千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 16,035千円 16,035千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.27人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.43人 0.05人 3,431千円 | 項目名 ①診療目標日数(平日夜間、日曜日・夜間、祝日昼・夜間) ②診療実施日数 実績 ①437日 ②407日 | 指標名 小児科救急医療病院群輪番制実施率 診療実施日数 ÷ 診療目標日数 R2目標 R2実績 100.0% 81.5% R3目標 R3実績 100.0% 93.1% R4目標 100.0% | 目標設定の考え方・根拠 本事業は、平日夜間、祝休日の昼間・夜間、すべての日の小児の第2次救急医療体制の確保を目的としていることから診療実施率を指標としている。 R3目標値が未達成の理由・分析 現在、第1・第3日曜日の夜間が担当医不在のため、引き続き埼玉県を中心に狭山市、入間市と連携しながら目標達成を目指していく必要がある。 | A | R2年度に引き続き、担当医不在となっていた時間帯等が整備され、小児科救急医療体制が改善された。小児の救急医療体制を推進する上で本事業は必要不可欠であり、引き続き埼玉県をはじめ、狭山市、入間市と連携し事業の継続及び体制の整備を図っていく。 | R3年度に改善した点 これまで担当医不在となっていた時間帯等が以下のとおり整備された。 【曜日(時間帯)】 第2・第4日曜日(夜間) 第5日曜日(昼間・夜間) 【開始日】 令和3年6月13日～ 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | 3. すべての人に健康と福祉を | 所沢地区における、小児の休日及び夜間の診療の確保 | | | |
| | | 優先 | ■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 根拠法令 | 所沢地区小児科救急医療病院群輪番制病院運営費補助に関する協定書 埼玉県小児科救急医療施設運営費補助金交付要綱 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 夜間(月から土曜日)及び休日・祝日の小児の第2次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、入間市において、3市及び協力医療機関(4病院)による協定書に基づき、輪番制で第2次救急医療体制の整備を図るものである。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | H12～ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 評価者 | 保健医療課長 小澤 一良 | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| 331 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 R2決算額 31,045千円 31,045千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 31,045千円 31,045千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.27人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.48人 0人 3,830千円 | R2予算現額 R2決算額 59,638千円 58,222千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 58,840千円 58,795千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.45人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.35人 0人 2,793千円 | 項目名 ①診療計画日数 ②診療実績日数 実績 ①72日 ②72日 | 指標名 診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数 R2目標 R2実績 100.0% 100.0% R3目標 R3実績 100.0% 100.0% R4目標 100.0% | 目標設定の考え方・根拠 本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始における初期救急患者の確保が目的であることから、診療実施率を指標とした。 R3目標値が未達成の理由・分析 目標達成済 | A | 本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない、休日、祝日及び年末年始における初期救急医療体制の確保が目的であり、現在、すべての休日、祝日、及び年末年始で実施されている。今後も引き続き、事業委託先である所沢市医師会と連携強化を図り、事業を継続していく。 | R3年度に改善した点 安定的な事業の実施及び、新型コロナウイルスに関する発熱外来やPCR検査等についても、市民の問い合わせに対応できるよう、所沢市医師会と調整し、在宅当番医から協力を得た。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | 3. すべての人に健康と福祉を | 祝祭休日及び年末年始の初期救急医療の確保 | | | |
| | | 重要 | ■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 根拠法令 | 埼玉県地域保健医療計画 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | S59～ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 評価者 | 保健医療課長 小澤 一良 | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| 331 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 R2決算額 31,045千円 31,045千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 31,045千円 31,045千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.27人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.48人 0人 3,830千円 | R2予算現額 R2決算額 59,638千円 58,222千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 58,840千円 58,795千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.45人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.35人 0人 2,793千円 | 項目名 ①診療計画日数 夜間(365日)+祝日・休日昼間(72日) ②診療実績日数 実績 ①437日 ②437日 | 指標名 診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数 R2目標 R2実績 100.0% 100.0% R3目標 R3実績 100.0% 100.0% R4目標 100.0% | 目標設定の考え方・根拠 本事業は、夜間及び休日・祝日、年末年始の第2次救急医療体制を確保することが目的であるため、診療実施率を指標とした。 R3目標値が未達成の理由・分析 目標達成済 | A | 本事業では、夜間、休日・祝日及び年末年始、すべての日において第2次救急医療体制が確保されている。今後も引き続き、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)3市で連携し、事業が円滑に推進できるよう努めていく。 | R3年度に改善した点 本事業が円滑に推進できるよう、所沢市、狭山市、入間市で連携を図るとともに情報共有に引き続き努めた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | 3. すべての人に健康と福祉を | 所沢地区における、休日及び夜間の第2次救急医療の確保 | | | |
| | | 重要 | ■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 根拠法令 | 所沢地区病院群輪番制病院運営費補助に係る協定書 所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 夜間及び休日・祝日、年末年始の第2次救急患者の医療体制を確保するため、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における第2次救急医療機関(13病院)が病院群輪番制方式により診療を実施するものである。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | S55～ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 評価者 | 保健医療課長 小澤 一良 | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| 332 | 保健医療課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 R2決算額 59,638千円 58,222千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 58,840千円 58,795千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.45人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.35人 0人 2,793千円 | R2予算現額 R2決算額 59,638千円 58,222千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 58,840千円 58,795千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.45人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.35人 0人 2,793千円 | 項目名 ①在宅要介護高齢者歯科診療 診療日数 ②障害児者歯科診療 診療日数 ③休日緊急歯科診療 診療日数 実績 ①52日 ②101日 ③70日 | 指標名 所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績(単位:人) R2目標 R2実績 850 580 R3目標 R3実績 850 689 R4目標 850 | 目標設定の考え方・根拠 障害児者の歯科診療が市の役割として期待されており、これを充実させるため、受診できる最大受診者数を指標とする。 R3目標値が未達成の理由・分析 歯科診療所あおぞらの障害児者の診療については、一定の治療を終え、リコール診療(定期検査)に移行している患者が増加していること、さらには感染症対策として、消毒の徹底及び患者間の接触を減らすために、診療間隔を従来より長く取ったことから受診者数が伸びず、目標値に達しなかった。 | A | 診察にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、診療間隔を長く取ったことにより、患者数が制限されたことから、目標値は達成できなかったものの、感染者が発生することもなく、診療を継続できた。今後も、一般の歯科診療所で診療が困難な患者に対する歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制を確保し、歯科診療事業を継続していく。 | R3年度に改善した点 感染症対策のため、診療機器の滅菌器を購入した。市内の介護サービス事業者に対し、在宅要介護高齢者歯科診療を案内するとともに、対象者への周知を依頼した。より診療対象者に近い方々にお願いすることにより、診療を必要とする方に情報が行きわたるよう努めた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | 3. すべての人に健康と福祉を | 一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保 | | | |
| | | 重要 | ■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 根拠法令 | 医療法、所沢市歯科診療所条例 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保を目的として、保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | H10～ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 評価者 | 保健医療課長 小澤 一良 | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |
| | | どのように貢献したか | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | | |
|-------|----------|---------------|---|--------|-------|-----|----------|-------------|------|------|-------|------------------------|-------|-------------|------------------------|--------------------|--|------|------|-----------------|-------|-----|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | | | |
| 333 | 市民医療センター | 実施計画ランク | 事業の種類別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 評価理由 | 現状の課題 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | | | | | | | | | | | 504,266千円 | 466,559千円 | ①内科外来診療患者数(二次救急含む) | 1日の内科外来診療患者数(二次救急含む)(内科外来患者数/診療日数) | R2目標 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | | |
| | | 根拠法令 | 所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | | | | | | ②診療日数 | 91人 |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 地域住民の医療ニーズを的確に把握し、地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 | | | | | | | | | | | 6.26人 | 22.40人 | 実績 | 内科外来診療においては、発熱外来患者の増加を受けて、過去4年と比較して、最も患者数が多くなったが、二次救急患者が令和元年度の患者数に及ばず、目標達成ができなかった。 | 91人 | R3実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 | | |
| | | 期間 | S51～ | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ①18,654人 | | | | | 80人 | 75人 |
| | | | | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ②246日 | | | | | | |
| | | 9.90人 | 23.60人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 79,002千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | |
|-------|----------|---|---|--|-------------|-------------------------------|-------------|------------------------------|---|-----------------|-------|--|---|-----------------|--|---------------------------------|--|
| | | | | 投入コスト | | 活動実績(R2) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | |
| 333 | 市民医療センター | 実施計画ランク | 事業の種類別 | 所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則 事業の目的及び具体的な内容 安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 ①小児科外来診療 ②小児神経発達外来等、専門外来の実施 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | B | 新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかないなか、発熱患児への診療も含め、外来を実施することで、安心して子育てができる医療環境に資することができた。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | |
| | | 最優先 | <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加 | | 159,095千円 | 124,625千円 | ①小児科外来診療患者数 | 1日の小児科外来診療患者数(小児科外来患者数/診療日数) | 公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、小児科外来の診療患者数を指標とする。 | R3目標値が未達成の理由・分析 | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により診療患者数が大幅に減少した令和2年度に比べ、令和3年度は増加傾向が見られた。一方で、依然新型コロナウイルス感染拡大の波が収まらず、診療患者数は令和元年度の水準には戻っていない状況である。 | | | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | 小児の感染性の疾患に対しても積極的な診療を行うとともに、専門外来の充実も図り、地域の医療ニーズに最大限応えられるよう診療体制を維持していく。 |
| | | 根拠法令 | R3予算現額 | | R3決算額(見込み) | ②診療日数 | R2目標 | | | | | | | | | | |
| | | 所沢市病院事業の設置等に関する条例 | 165,945千円 | | 145,990千円 | ③小児神経発達外来、夜尿症外来、フォローアップ外来の患者数 | — | 33人 | | | | | | | | | |
| | | 所沢市市民医療センター管理規則 | R2正規職員人件費 | | R2その他職員従事割合 | 実績 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 4.60人 | | 会年職員等 5.60人 | ①12,598人 | — | 52人 | | | | | | | | | |
| | | 安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 | R3正規職員人件費 | | R3その他職員従事割合 | ②242日 | R4目標 | | | | | | | | | | |
| | | ①小児科外来診療 | 4.70人 | | 会年職員等 6.00人 | ③463人 | 66人 | | | | | | | | | | |
| | | ②小児神経発達外来等、専門外来の実施 | 37,573千円 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | 4.70人 | | | | | | | | | | | | | | |
| S51~ | 37,506千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | |
|-------|---------|--|---------------------------|-------------|-----------|-------------|----------|------|-------------|------------------------|--|------------|-----------------|------------------------|---------------------|-----------------------|--|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | |
| 341 | 国民健康保険課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 特別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 令和3年度もレセプト点検業務を委託し、歳出金額が大幅に削減された。引き続き効果が上がるよう取り組んでいく。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | |
| | | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 3,212千円 | 2,832千円 | | | | | | | | | ①レセプト点検率 | 再審査申出に伴う効果額に対する決算額の割合 | 再審査申出に伴う効果額は、レセプト件数や医療機関での算定内容によって増減が大きいため、費用対効果を指標とする。 |
| | | 根拠法令 | 国民健康保険法 | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | | | | | | | | | | | |
| | | レセプト点検業務委託事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | | | | | | | | | 実績 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 1 埼玉県国民健康保険団体連合会で審査されたレセプトを受領し、電算処理する。 2 レセプト点検システムにより内容点検を行う。 3 内容について疑義がある場合は、埼玉県国民健康保険団体連合会へ再審査の依頼をする。 | 0.10人 | | 0人 | 100.0% | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | R2~ | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ①100% | 150.0% | 再審査申出件数が減少したことが要因と考えられる。その反面、再審査申出件数が減少することは、医療機関のレセプト請求の精度が向上しているとも考えられるので、引き続き状況を注視していく。 |
| | | | | | 0.28人 | 0人 | | | | | | | | | ②7,662件 | 147.6% | |
| | | 2,234千円 | 0人 | ③4,330,265円 | 150.0% | | | | | | | | | | | | |
| 342 | 国民健康保険課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 特別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | C | 3年度の目標は未達成だったものの新型コロナの影響は徐々に改善しつつあり、令和3年度の最終的な実施率は2年度実績まで回復するものと見込んでいる。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | |
| | | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 7,568千円 | 2,431千円 | | | | | | | | | ①特定保健指導(動機付け支援)の実施率 | 実施率(全体) | 特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数 |
| | | 根拠法令 | 高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法 | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | | | | | | | | | | | |
| | | 特定保健指導業務委託事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | | | | | | | | | 実績 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 平成20年4月から、各医療保険者には生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図ることを目的とした特定健康診査と特定保健指導の実施が義務付けられた。実施率向上を目指し、特定保健指導の一部(動機付け支援)については、直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値60%が達成できる体制の再構築を目指すものである。 | 1.00人 | | 1 | 30.0% | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | R1~ | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ①25.3%(令和4年6月27日現在) | 40.0% | 特定保健指導の一部(動機付け支援)を直営体制から業務委託に切り替えることにより、目標達成を目指したが、R2に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響も受け、実施率の低迷が続いている。 |
| | | | | | 8,168千円 | 1 | | | | | | | | | ② | 23.5%(令和4年6月27日現在) | |
| | | 13,885千円 | 1 | ③ | 50.0% | | | | | | | | | | | | |
| 343 | 国民健康保険課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 特別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 協力医療機関においては、年々本事業についての周知が進んでいると思われるが、対象者については早期受診の重要性が十分に認識されていないと考えられるため、一層の啓発が求められる。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 29,851千円 | 25,569千円 | | | | | | | | | ①受診勧奨対象者の受診率 | 受診勧奨対象者の受診率 | 医療費が高額になる人工透析への移行を防ぐため、医療機関を受診していない人、もしくは受診を中断した人の勧奨後の受診率を指標とする。 |
| | | 根拠法令 | 国民健康保険法 | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | | | | | | | | | | | |
| | | 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | | | | | | | | | 実績 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 県の指定を受けたモデル事業であり、国保連合会との共同事業として実施。各保険者が事業費用を分担金として負担。具体的には、レセプトと健診データを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつける受診勧奨と、糖尿病性腎症で通院する被保険者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防ぐ。 | 0.85人 | | 0人 | 17.0% | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | H26~ | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ①16.9% | 18.0% | 未受診理由としては、自覚症状がないことから必要性の認識欠如や忙しさが想定される。早期の取組の重要性を周知していくことが必要と考えられる。 |
| | | | | | 6,943千円 | 0人 | | | | | | | | | ②94.7% | 16.9% | |
| | | 7,102千円 | 0人 | ③29.3% | 19.0% | | | | | | | | | | | | |
| 344 | 国民健康保険課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 特別 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | ジェネリック医薬品に係る調剤薬局における困難な状況を見ると、積極的な啓発活動は難しい面もある。改善には、まだ期間を要すると推測するが、状況把握に努め、関係機関とも連携をとりながら、推進していく必要があると考える。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | |
| | | 優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 1,351千円 | 803千円 | | | | | | | | | ①ジェネリック医薬品数量シェア | ジェネリック医薬品数量シェア | 数量シェア=ジェネリック医薬品の数量/(ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量)×100 |
| | | 根拠法令 | - | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | | | | | | | | | | | |
| | | ジェネリック医薬品利用促進事業 | 事業の目的及び具体的な内容 | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | | | | | | | | | 実績 | R2実績 | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | ジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで80%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめるとともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。 | 0.34人 | | 0人 | 80.0% | | | | | | | | | | | |
| | | 期間 | H25~ | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ①78.6% | 80.0% | ジェネリック医薬品数量シェアについては、R2までは順調に上昇していたが、目標値の目前で下降に転じた。薬局や被保険者からの声によると、メーカー不祥事に端を発する在庫不足の問題も少なからず影響していると思われる。 |
| | | | | | 2,777千円 | 0人 | | | | | | | | | ② | 78.6% | |
| | | 2,633千円 | 0人 | ③ | 80.0% | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | | | | |
|---|-----------|---|---------------------------|----------|-------|-----|----------|-------------|------|--|------------|-----------------|----------------|-------------|------------------------|-----------------|-----------------|--|--|------------|-----------------|-----------------|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 今後においても、より一層市民の余暇の拡大、健康増進に努めていきたい。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | 204,496千円 | 202,397千円 | ①施設利用枠数 | 施設稼働率(利用枠数÷利用可能枠数×100) | 市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とした。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②施設利用人数 | | | | | |
| | | スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則 | 0千円 | | | | | | | | | | | | 0千円 | ③施設使用料収入 | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | R2正規職員人件費 | | | | | | | | | | | | R2その他職員従事割合 | R2目標 | R2実績 | | | | | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。 | 4.97人 | | | | | | | | | | | | 0人 | 75.0% | 62.8% | | | | | |
| ・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 | 40,595千円 | 0人 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。 | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | 75.0% | 80.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 期間 | 5.28人 | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S51~ | 42,134千円 | 0人 | 80.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 残り1校については、学校と近隣状況の関係について注視していくものとする。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | 4,110千円 | 4,110千円 | ①利用者数 | 学校開放運営委員会による組織開放率(組織開放校÷市内小・中学校数47校)×100 | 市民がスポーツをする場所を確保するため、市内小中学校の全てを組織開放にすることを目標としている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ② | | | | | |
| | | スポーツ基本法、社会教育法 | 4,110千円 | | | | | | | | | | | | 4,110千円 | ③ | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | R2正規職員人件費 | | | | | | | | | | | | R2その他職員従事割合 | R2目標 | R2実績 | | | | | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 各地区学校開放運営委員会が委託契約に基づき、学校体育施設を市民に開放するため、利用者の調整や手続きなどの管理運営を行っている。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう開放時における施設設備の保全、利用者に対する使用の指導助言や施設、設備の使用許可なども行っている。 | 0.30人 | | | | | | | | | | | | 0人 | 100%(47校) | 98%(46校) | | | | | |
| 期間 | 2,450千円 | 0人 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S48~ | 0.50人 | 0人 | 100%(47校) | 98%(46校) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3,990千円 | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 100%(47校) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | C | 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、例年では、1日あたりの利用者数という指標が、天候などの条件に左右される性質のものであることから、一概には判断できないものと考えられる。より一層市民の余暇の拡大につながるよう、施設の運営に努めていきたい。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | 830千円 | 0千円 | ①年間利用者数 | 1日あたりの利用者数(年間利用者数÷開催日数) | 市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、1日あたりの利用者数を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標とした。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②年間使用料収入 | | | | | |
| | | スポーツ基本法、所沢市都市公園条例・同規則 | 0千円 | | | | | | | | | | | | 0千円 | ③ | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | R2正規職員人件費 | | | | | | | | | | | | R2その他職員従事割合 | R2目標 | R2実績 | | | | | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 北野公園に市民プールを設置し、開設期間である7月中旬から8月31日まで運営。夏季におけるスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与する。 | 0.06人 | | | | | | | | | | | | 0人 | 1,000人 | 0人 | | | | | |
| 期間 | 490千円 | 0人 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S47~ | 0.22人 | 0人 | 1,000人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1,756千円 | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1,000人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | S | 体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のためにも、引き続き施設の修繕、改修に努めていきたい。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | 11,500千円 | 11,572千円 | ①体育施設整備費執行額(修繕) | 整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100) | 施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | |
| | | 根拠法令 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②体育施設整備費予算額(工事) | | | | | |
| | | スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例 | 11,339千円 | | | | | | | | | | | | 11,327千円 | ③体育施設整備費執行額(工事) | | | | | | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | R2正規職員人件費 | | | | | | | | | | | | R2その他職員従事割合 | R2目標 | R2実績 | | | | | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 | 1.40人 | | | | | | | | | | | | 0人 | 100.0% | 100.6% | | | | | |
| ①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。 | 11,435千円 | 0人 | R3目標 | R3実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 期間 | 0.72人 | 0人 | 100.0% | 99.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S47~ | 5,746千円 | 0人 | R4目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | | |
|-------|---------|---------------|--|----|-----------|-------------|--------------------------------|--|-------------|------------------------|--|------------|-----------------|------------------------|-----------|-----------------|---------|--------|-------|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 一般 | R2予算現額 | R2決算額 | ①大会参加者数 ② ③ | 大会参加者数維持率 (参加者数÷前年度参加者数×100) | 目標設定の考え方・根拠 | A | 所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市全体のスポーツ大会をはじめ、各支部で運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 1,084千円 | 1,059千円 | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①658人 | 100.0% | 0.0% |
| | | 根拠法令 | スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱 | | 2,700千円 | 2,400千円 | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ② | 100.0% | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 「体力づくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。 | | 0.34人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R3目標値が未達成の理由・分析 | | | |
| | | 期間 | S47~ | | 2,777千円 | | | | | | | | | | ①658人 | R3実績 | | | |
| | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ② | 100.0% | 658.0% | | |
| | | | | | 0.22人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R4目標 | | | |
| | | 1,756千円 | | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 一般 | R2予算現額 | R2決算額 | ①登録数 ②登録団体 ③ | 登録数の維持率 (今年度登録数÷前年度登録数×100) | 目標設定の考え方・根拠 | B | 登録団体数は61団体で昨年度と同数であるが、登録数が減少したため。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 1,110千円 | 700千円 | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①1,537 | 100.0% | 79.6% |
| | | 根拠法令 | スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱 | | 1,110千円 | 500千円 | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ②61団体 | 100.0% | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。 | | 0.54人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R3目標値が未達成の理由・分析 | | | |
| | | 期間 | S48~ | | 4,411千円 | | | | | | | | | | ①1,537 | R3実績 | | | |
| | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ②61団体 | 100.0% | 78.9% | | |
| | | | | | 0.44人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R4目標 | | | |
| | | 3,511千円 | | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 一般 | R2予算現額 | R2決算額 | ①加盟団体数 ②市民対象事業実施団体数 ③ | 市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数(市民大会実施団体数÷加盟団体数×100) | 目標設定の考え方・根拠 | B | スポーツ協会が中心となり、所沢シティマラソン大会や所沢市陸上競技選手権大会の運営を行っている。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会数も増加傾向にある。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 1,500千円 | 1,500千円 | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①37団体 | 100.0% | 18.4% |
| | | 根拠法令 | スポーツ基本法、体育協会補助金交付要綱 | | 1,960千円 | 1,960千円 | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ②8団体 | 100.0% | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | 所沢市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚をはかり、もって市民生活の向上発展を目的に設立された当協会に交付金を交付することにより、この協会設立目的達成を支援する。 | | 0.39人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R3目標値が未達成の理由・分析 | | | |
| | | 期間 | S29~ | | 3,186千円 | | | | | | | | | | ①37団体 | R3実績 | | | |
| | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ②8団体 | 100.0% | 33.3% | | |
| | | | | | 0.34人 | 0人 | | | | | | | | | ③ | R4目標 | | | |
| | | 2,713千円 | | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | 一般 | R2予算現額 | R2決算額 | ①会員数 ②加盟団体数 ③市民対象事業実施団体数 | 市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数(市民対象事業実施団体数÷加盟団体数×100) | 目標設定の考え方・根拠 | B | 市民に対しレクリエーション活動を普及するため、毎年2月にレクリエーションまつりを開催している。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会数を増やす取り組みを行っている。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | 600千円 | 480千円 | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①2,283人 | 100.0% | 7.1% |
| | | 根拠法令 | スポーツ基本法、所沢市レクリエーション協会補助金交付要綱 | | 600千円 | 450千円 | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | ②13団体 | 100.0% | |
| | | 事業の目的及び具体的な内容 | レクリエーションを原動力として、市民と共に地域の活性化を図る活動を繰り広げていくため設置され、当該団体の活動を支援するために補助を開始した。近年少子高齢社会が進んでいる中、レクリエーションを通じて、市民の健康増進を図るとともに関係団体相互の親睦を密にし、レクリエーション運動の推進を図る。 | | 0.34人 | 0人 | | | | | | | | | ③1団体 | R3目標値が未達成の理由・分析 | | | |
| | | 期間 | H11~ | | 2,777千円 | | | | | | | | | | ①2,283人 | R3実績 | | | |
| | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | | | | | | | | | ②13団体 | 100.0% | 7.6% | | |
| | | | | | 0.19人 | 0人 | | | | | | | | | ③1団体 | R4目標 | | | |
| | | 1,516千円 | | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | |

| 計画コード | 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | SDGsへの貢献(最大3つ) | | | | | |
|---------|---------|------------------|--|--------|-------|-----|----------|-------------|---|--|------------|-----------------|----------------|------------------------|-------------|-------------------------------|---|-----------------|
| | | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績(R2) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 事業自体が貢献する項目 | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) | | | | |
| 353 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | B | 弓道連盟と土地賃貸借の諸条件について協議を慎重に重ねている。令和4年8月1日を目的に契約を締結する予定である。今後は、契約を締結した後は、契約書第4条2に記されているとおり、具体的な計画の進捗確認が必要となる。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①一般市民施設利用者数 | 弓道連盟以外の一般市民への開放が公共性の担保に繋がり、また、市民の健康増進に寄与することを目的としていることから、一般市民施設利用者数を目標値とした。 目標値としては、前年より増やすことを目標とした。 | R3目標値が未達成の理由・分析 |
| | | 北中運動場用地貸付事業 | 根拠法令 | | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ② | | |
| | | | 所沢市財産規則、所沢市普通財産貸付基準 | | | | | | | | | | | 1,500千円 | 1,430千円 | ③ | | |
| | | | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | | |
| | | | 所沢市弓道連盟は西新井にあった弓道場の閉鎖後、射場不足のため、自己資金で弓道場建設用地を探していたが、適当な土地が見つからなかったため、本市へ借地の要望があった。そこで本市が所有する土地を、弓道場用地として貸付を行うことにより、北中弓道場の一部の有効活用及び市民のスポーツ活動を支援し、もって市民の健康、福祉を増進することを目的とする。 | | | | | | | | | | | 0.00人 | 0人 | ①0名 | | |
| | | | 期間 | | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ② | | |
| R3~ | 0.31人 | 0人 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,474千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 354 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 令和元、2年度と新型コロナウイルスの影響により、市役所会議室でスポーツ大賞のみの開催となりましたが、令和3年度は市民体育館サブアリーナでスポーツ大賞およびスポーツ協会賞を新型コロナウイルスの感染対策を実施したうえで開催しました。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①候補者推薦件数 | 表彰式参加者数 (参加者数÷前年度参加者数×100) | R3目標値が未達成の理由・分析 | |
| | | スポーツ大賞表彰式開催事業 | 根拠法令 | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ② | | | |
| | | | 所沢市スポーツ大賞設置及び表彰要綱 | | | | | | | | | | 159千円 | 132千円 | ③ | | | |
| | | | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | | | |
| | | | スポーツ界で優秀な成績を収めたもの及びスポーツの振興に寄与したものを顕彰することで、市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起することを目的とする。 | | | | | | | | | | 0.27人 | 0人 | ①12人 | | | |
| | | | 期間 | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ② | | | |
| S47~ | 0.28人 | 0人 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,234千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 354 | スポーツ振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類 | R2予算現額 | R2決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | A | 地域住民を中心とした運営により、令和2年1月に20周年目を迎えた。クラブの種目については現在14種目となっている。成果指標についても、新規会員の獲得に向けた取り組みを行っており、おおむね目標を達成している。 | R3年度に改善した点 | 3. すべての人に健康と福祉を | | | | | | |
| | | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ①会員数 | 会員数維持率 (今年度会員数÷前年度会員数×100) | R3目標値が未達成の理由・分析 | |
| | | 総合型地域スポーツクラブ支援事業 | 根拠法令 | | | | | | | | | | R3予算現額 | R3決算額(見込み) | ②種目別活動数 | | | |
| | | | スポーツ基本法 | | | | | | | | | | 0千円 | 0千円 | ③ | | | |
| | | | 事業の目的及び具体的な内容 | | | | | | | | | | R2正規職員人件費 | R2その他職員従事割合 | 実績 | | | |
| | | | 所沢市総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うことで、クラブの拡充による住民自治活動の推進やスポーツ人口の拡大など、生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興に寄与するため。 | | | | | | | | | | 0.06人 | 0人 | ①802人 | | | |
| | | | 期間 | | | | | | | | | | R3正規職員人件費 | R3その他職員従事割合 | ②14団体 | | | |
| H12~ | 0.13人 | 0人 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1,037千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |